

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	①文化財指定等による保護				担当課	担当課評価	
					文化財保護課	B	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。</li> <li>・市内に点在する遺跡を埋蔵文化財包蔵地に指定し、包蔵地内で開発工事が行われる際は試掘調査により埋蔵文化財の有無を確認し、確認された場合には工事計画により発掘調査をして記録保存します。</li> </ul>						
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財調査は、民間の開発計画に合わせて、実施できるよう今後も努力していきます。</li> <li>・その他の文化財調査については、文化財指定に至らない資料についても、正確な調査を実施し、文化財保護審議会に報告していきます。</li> </ul>						
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財数 266件。</li> <li>・埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数：5件(前年度比 50%) 試掘調査件数：53件(前年度比 83%)</li> <li>・その他文化財調査件数 75件(前年度比138%)</li> </ul>						
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1			
	文化財調査件数(件)	21	54	75			
指標及び説明	【指標】 文化財数	【説明】 市・県・国指定等文化財数					
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実績値				目標値 (R2)
	件	264	H27 266	H28 265	H29 265	H30 266	R1 266
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財の発掘調査は前年度比50%の減、試掘件数は前年度比83%の減となりました。埋蔵文化財調査は、民間の開発に伴うもので、計画的な調査が実施できないという課題があります。</li> <li>・その他の文化財調査件数は前年度比138%に増加していますが、文化財指定に満たないと判断される場合もあります。</li> </ul>						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財調査は、民間の開発計画に合わせて、実施できるよう今後も努力していきます。</li> <li>・その他の文化財調査については、文化財指定に至らない資料についても、正確な調査を実施し、文化財保護審議会に報告していきます。</li> <li>・調査した文化財は、今後策定を予定している「文化財保存活用地域計画」に反映できるように努めます。</li> </ul>						

細 施 策	②文化財保護意識の啓発				担当課	担当課評価
					文化財保護課	A
施策の内容	国民の財産である文化財の価値を市民に知らせ理解を深めてもらうために、文化財保護意識の啓発に努めます。					
前年度の改善の方策等	啓発事業は、実施について周知に努めるとともに、内容をさらに充実させます。公民館や学校教育への講師派遣は、今後も積極的に対応します。					
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡発表会参加者数：94人(前年度比192%) ・・・周知方法として、市HP、広報、ポスター、チラシを作成し、広く市内・外に周知を図った。 また、出土遺物を展示し出土品の解説等も行い内容の充実に努めた。</li> <li>・文化財防火訓練参加者数：119人(前年度比107%)</li> <li>・職員の講師派遣件数：21件(前年度比105%)</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	遺跡発表会参加者数(人)	70	49	94		
	職員の講師派遣件数(件)	24	20	21		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年行われる遺跡発表会・文化財防火訓練などの参加者数は、天候に左右され増減する傾向があります。</li> <li>・平成29年度の講師派遣は、川越氷川祭の山車行事がユネスコに登録されたことによる講師依頼が多く、平成30年度以降はやや落ち着いたと考えられます。</li> <li>・公民館・小学校等からの講師依頼には積極的に対応しています。</li> </ul>					
改善の方策等	啓発事業は、実施について周知に努めるとともに、内容をさらに充実させます。公民館や学校教育への講師派遣は、今後も積極的に対応します。					

## 【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成			担当課	担当課評価
				文化財保護課	C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無形民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。</li> <li>・後継者育成を積極的に支援します。</li> </ul>				
前年度の改善の方策等	後継者養成や道具の修理については、保存団体に対して、適切に補助金を交付していきます。保存団体からの聞き取り調査をさらに進め、問題点を把握していきます。				
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗文化財保存修理件数：3件(前年度比 -1件)</li> <li>・後継者養成事業実施団体数：16団体(前年度比 -1件)</li> <li>・後継者についての聞き取り 17件(前年度比 +16件)</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1	
	民俗文化財保存修理件数(件)	1	4	3	
	後継者養成事業実施団体数(件)	17	17	16	
現状・課題	指定文化財については、後継者養成や使用する道具の修理などに技術的な指導や助言をし、補助金を支出しています。後継者養成については、現在、少子高齢化などの影響で、地域の伝統的な祭りや芸能の継承は困難な状況にあります。打開策が見いだせない状況です。				
改善の方策等	後継者養成や道具の修理については、保存団体に対して、適切に補助金を交付していきます。保存団体からの聞き取り調査をさらに進め、問題点を洗い出して個々の団体に即した改善策を検討していきます。				

細 施 策	④有形文化財の保存と活用			担当課	担当課評価
				文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。</li> <li>・博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。</li> </ul>				
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「川越市の文化財」改訂事業にあわせ、指定文化財の現況を把握するよう努めます。</li> <li>・文化財緊急修理に対する補助金を確保するよう努めます。</li> <li>・永島家住宅に関しては、長期的な視野のもと、維持管理を行いながら、一般公開をしていきます。</li> </ul>				
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財保存事業実施件数：23件(前年度比76%)</li> <li>・永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者数：2,285人(前年度比 85%) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月は一般公開を休止</li> <li>・埋蔵文化財出土品貸出件数：5件(前年度比 62%)</li> <li>・指定文化財(266件)の現況を把握するカルテ作成のための調査：74件(前年度比 200%)</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1	
	指定文化財保存事業実施件数(件)	25	30	23	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財の所有者・管理者と協力して、文化財を後世に残すために適切な維持管理や、保存修理事業を実施し、公開に努めています。</li> <li>・近年、台風や大雪など突発的な災害で修理事業が発生することがあり、予定にない修理事業に対応する予算の必要性が増していますが、実際には対応しきれないケースもあり、対応が難しい状況です。</li> </ul>				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「川越市の文化財」改訂事業にあわせ、指定文化財の現況を把握するよう努めます。</li> <li>・文化財緊急修理に対する補助金を確保するよう努めます。</li> <li>・永島家住宅に関しては、長期的な視野のもと、維持管理を行いながら、一般公開していきます。</li> </ul>				

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実							担当課	担当課評価
								都市景観課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的建造物の保存修理など必要な事業を実施し、あわせて保存技術の継承や後継者の育成に努めます。</li> <li>・伝統的建造物の耐震化や自主防災体制の整備を検討します。</li> </ul>								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								
令 和 元 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存修理事業(国庫補助対象)／長谷川家住宅土蔵:屋根工事・左官工事・板金工事 勝治家住宅主屋:木工事・左官工事・板金工事・塗装工事 大塚家住宅主屋:木工事・左官工事・建具工事 薬師神社拝殿及び本殿:屋根工事・左官工事</li> <li>・地区の啓発パンフレット作成／まちづくりガイドライン</li> <li>・重要伝統的建造物群保存地区選定20周年記念行事／シンポジウムの開催、記念誌の作成</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】 伝統的建造物の修理件数				【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の累計件数				
	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
指 標 の 推 移	件	57	H27 61	H28 64	H29 69	H30 71	R1 75	R2	76
現 状 ・ 課 題	伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が想定目標値を上回っており、順調に進捗しています。								
改 善 の 方 策 等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								

細 施 策	⑥河越館跡の整備・活用							担当課	担当課評価
								文化財保護課	A
施 策 の 内 容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO法人、大学等と協働してその有効活用を図ります。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	未買収地の買い上げを行うと同時に、河越館跡整備検討委員会を開催し、発掘調査や整備方法、ガイドダンス施設等保存活用について検討します。								
令 和 元 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未取得地の買い上げを行い、公有化予定範囲の全ての買い上げを完了しました。</li> <li>・河越館跡史跡公園(未整備地を含む)の活用を目的としたイベントを文化財・歴史の理解を前提とした内容で企画、実施しました。(1件)</li> <li>・河越館跡整備検討委員会を開催しました。(1回)</li> <li>・今年度の河越流鏝馬は、駐車場の入間川河川敷が豪雨で荒れ、使用が危ぶまれましたが、公園管理事務所の協力で予定どおり使用することができました。</li> </ul>								
成 果 実 績	項目名(単位)		H29	H30	R1				
	河越館跡地の史跡公園整備率(%)		30.4	30.4	30.4				
	河越流鏝馬見学者数(人)		2,200	3,400	3,800				
現 状 ・ 課 題	長く協議を続けてきたゴルフ練習場所有の史跡部分の買い上げが完了し、予定されていた公有化予定地はすべて取得しました。今後、懸案の市道の付替や活用のための施設に関する検討が必要です。								
改 善 の 方 策 等	河越館跡の活用等について、保存管理計画を見据えて、河越館跡整備検討委員会で検討し、さらに文化財保存活用地域計画も絡めて、中長期的なスケジュールを考えていきます。								

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	⑦山王塚古墳の整備			担当課	担当課評価
				文化財保護課	B
施 策 の 内 容	国内で最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、未来に伝えるべき貴重な文化財として、国指定史跡とすることを目指します。				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	山王塚古墳の価値を周知する普及・啓発事業を充実させながら、課題解決に努めます。				
令 和 元 年 度 績 実	総括報告書で明らかにした山王塚古墳の学術的価値を地元住民と共有するために現地説明会を実施しました。 また、博物館シンポジウム、公民館講座、県立博物館歴史講座等で発掘調査の成果を発表しました。				
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1	
	川越市山王塚古墳調査検討委員会開催数(回)	1	1	0	
	山王塚古墳現地説明会見学者数(人)	698	102	124	
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総括報告書をもとに、史跡の学術的価値の広報普及活動を行っています。</li> <li>・国指定へ向けて庁内の関係部署と調整しています。今後は、庁内の調整を進め、地権者や地元自治会等への説明会などが必要です。</li> </ul>				
改 善 の 方 策 等	山王塚古墳の価値を周知する普及・啓発事業を充実させながら、課題解決に努めます。				

【方向性】Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱	(1)文化財の保護				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①文化財指定等による保護	文化財保護課	B	B	
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	A		
	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	C		
	④有形文化財の保存と活用	文化財保護課	B		
	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	A		
	⑥河越館跡の整備・活用	文化財保護課	A		
⑦山王塚古墳の整備	文化財保護課	B			
学 識 経 験 者 等 意 見	無形民俗文化財の保存と後継者の育成については、子どもが楽しいと思うことが大切であり、そのためには地域の理解や雰囲気づくりが大事になるので、地域の理解を得ていくことを模索していく必要があると考える。				

【施策の柱】(2)文化芸術の振興

細 施 策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	A
施策の内容	市民、市民団体、NPO法人、企業、大学等との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、相互の交流等を通じて、地域の魅力づくりとなる新たな文化芸術の創出に努めます。								
前年度の改善の方策等	引き続き、文化芸術団体や学校、各種団体等と連携・協働するとともに、本市の有する資源を活用した新たな文化芸術事業の創出に努めます。								
令和元年度実績	市民や市民団体と連携・協働し、①川越市民文化祭、②川越市総合文化祭、③2音大クラシック・コンサート、④川越市美術展覧会、⑤大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、⑥小江戸川越第九の会 演奏会、⑦高校生小説大賞、⑧文芸川越の発行など、定着してきた事業のほか、新たに⑨「川越の歴史に触れる朗読会」事業、⑩Painters Street(屋外ライブイベント事業)及びその作品展示事業を実施しました。								
指標及び説明	【指標】 協働による文化芸術事業件数				【説明】 文化芸術団体等との協働による文化芸術事業件数				
	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
指標の推移	件	7	H27 8	H28 9	H29 8	H30 11	R1 10	R2	10
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術団体をはじめ、高校・大学等の学校や各種団体との連携・協働により、文化芸術事業を実施しています。</li> <li>定着してきた事業に加え、新たな協働事業に取り組み、安定した事業数を保っています。</li> </ul>								
改善の方策等	新型コロナウイルス感染症への対応等、社会情勢を踏まえた上での実施となりますが、引き続き、文化芸術団体や学校、各種団体と連携・協働することにより、地域の文化や芸術活動を振興するとともに、新たな文化芸術の創出に努めます。								

細 施 策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	B
施策の内容	高校や大学との連携事業を推進するなど、若い世代が文化芸術事業に参加・活動しやすい環境を整えます。								
前年度の改善の方策等	引き続き、若い世代が気軽に良質な文化芸術に触れる機会を提供するため、参加可能な事業の検討や周知に努め、企画内容や料金設定などを通して、より参加しやすい環境づくりに努めます。								
令和元年度実績	①尚美学園大学、東邦音楽大学と連携して、「2音大クラシック・コンサート」を実施しました。R1学生招待者数39名(H30学生招待者数330名)。 ②「高校生小説大賞」を実施しました。R1応募点数11点(H30応募点数21点)。 ③「川越市美術展覧会」で学生奨励賞を授与しました。R1応募点数36点、学生奨励賞6点(H30応募点数29点、学生奨励賞4点)。								
成果実績	項目名(単位)		H29	H30	R1				
	2音大クラシック・コンサートの入場者数(人)		691	899	632				
現状・課題	①2音大クラシック・コンサートは学生招待の人数が減少したことにより、来場者数が減少しました。 ②高校生小説大賞は、年度により応募作品数に増減がありますが、ここ数年減少傾向が見られます。 ③川越市美術展覧会は、学生の出品点数はここ数年増加傾向が見られ、順調に進捗しています。								
改善の方策等	新型コロナウイルス感染症の影響により、2音大クラシック・コンサート及び川越市美術展覧会は中止となりました。また、作品の減少等により、高校生小説大賞は廃止となりました。今後は、感染症対策を講じた事業の実施について、検討します。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(2) 文化芸術の振興			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化芸術振興課	A	A	A
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化芸術振興課	B		
学識経験者等 意見	<p>・若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくりについては、市が主催する事業に参加しづらい雰囲気があるのかもしれないので、もっと気軽に参加できるように工夫していただきたい。</p> <p>・若い世代を対象にするのであれば、事業の表題を少しひねったものにしたたり、副賞を工夫したり、また、審査員に今活躍しているクリエイターなどを入れたりするなど、若い世代の方の目を引くように、内容も精査していく必要があると考える。</p>				A

【施策の柱】(3)文化芸術に触れる機会づくり

細 施 策	①文化芸術が身近にある環境づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の文化芸術への関心や理解を深めるため、良質な文化芸術の鑑賞機会を提供します。</li> <li>市民が身近なところで、気軽に文化芸術に触れることができるよう、インターネットやSNS等を活用し、わかりやすく、魅力ある情報の提供に努めます。</li> </ul>					
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズを事業の企画に反映するなど、引き続き良質な文化芸術の鑑賞機会の提供に努めます。</li> <li>文化芸術メールやツイッターなどのSNSを積極的に活用し、文化芸術のイベント・講座情報の一層の提供に努めます。</li> </ul>					
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェスタ川越大ホール等において、指定管理者がオーケストラ公演や宝塚歌劇等の鑑賞事業や、レクチャーコンサート、狂言などの普及・参加・交流事業を市の提案事業として実施しました。</li> <li>市の主催事業をはじめとする文化芸術のイベント・講座情報を「文化芸術イベント情報」(市HP)や「文化芸術メール」(小江戸川越メール配信サービス)により発信しました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	文化芸術振興施設提案事業満足度(%)	98.0	98.4	99.0		
	文化芸術メール配信数(件)	164	146	92		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術振興施設提案事業満足度は、高い水準を保ち順調に推移しています。</li> <li>文化芸術メール配信数は、イベントの主催者からの配信依頼が減ったこと等により減少しました。</li> </ul>					
改善の方策等	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施は困難な状況にありますが、実施される文化芸術イベントの情報収集に努め、文化芸術メールやツイッターなどを活用した積極的な情報提供に努めます。					

細 施 策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	次代を担う子どもたちが、文化芸術を鑑賞し、学ぶことのできる機会の充実を図ります。					
前年度の改善の方策等	引き続き、アウトリーチを行う人材の発掘に努めます。					
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子どもの文化芸術体験～アウトリーチ」として、小学校19校にアーティストを派遣し、使用楽器や演奏曲の説明を交えた演奏会を実施しました。</li> <li>人材(アーティスト)の発掘については、1月に「人材発掘公開オーディション」を開催し、一次審査を通過した8組から3組の合格者を決定しました。合格者3組を、翌年度から2年間アウトリーチとして小学校へ派遣します。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	アウトリーチ実施校数(校)	12	18	19		
現状・課題	アウトリーチ実施校数は増えており、順調に進捗しています。					
改善の方策等	実施校数は順調に増加していますが、未実施の学校もあるため、引き続き学校への周知に努めます。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	文化芸術振興課	B	A	A
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 意見	<p>・文化芸術メール配信については、メール配信依頼があったものだけでなく、担当課から働きかけて配信していただきたい。</p> <p>・学校との連携事業について、今年度は、新型コロナウイルスの影響により学校の授業時間の確保が難しくなっている状況を踏まえて、実施の検討をしていただきたい。</p>				A

細 施 策	①文化芸術活動への支援				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術活動を行う市民の発表機会の充実を図ります。</li> <li>文化芸術分野で功績のある人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を支援します。</li> </ul>					
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代にも興味を持ってもらうため、ホームページやメール配信サービス、ツイッター等の媒体を活用した情報の周知などに努めます。</li> <li>各関連団体やメディア等から情報を収集し、各学校等とも連携して顕彰の候補対象者等の抽出に務めます。</li> </ul>					
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>川越市民文化祭や川越市総合文化祭、川越市美術展覧会等、各種事業について継続して開催しました。また、事業周知にあたってはホームページの掲載、メール配信サービス、ツイッター等の媒体を活用しました。</li> <li>文芸川越第40号を刊行しました。</li> <li>文化スポーツ顕彰は川越市文化賞、川越市スポーツ賞ともに授与はありませんでした。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H29	H30	R1		
	市民文化祭の事業数(件)	26	26	24		
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民文化祭は、台風や新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした事業があったことから、前年度と比較すると事業数は減少しました。また、高齢化が課題となっているため、引き続き若い世代へ参加を促すことが必要です。</li> <li>文化芸術の分野でがんばった子どもたちを応援するための表彰を行います。</li> </ul>					
改善の方策等	新型コロナウイルス感染症への対応等、社会情勢を踏まえた上での実施となりますが、実施される事業については、安全に実施できるよう、市民の文化芸術活動の支援に努めます。					

細 施 策	②文化芸術活動の場の整備							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	B
施策の内容	市民の芸術鑑賞や活動・発表の場である文化施設やウェスタ川越大ホール等の適切な運営管理を図ります。								
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設の利用者数が増加するよう、施設の利用促進に努めます。</li> <li>老朽化した文化施設について、計画的な改修に努めます。また、施設設備の適切な維持管理に努めます。</li> <li>ウェスタ川越の指定管理者選定に当たっては、利用者の支障とならないよう円滑に進めます。</li> </ul>								
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設の利用者数及びウェスタ川越大ホールの区分稼働率については、前年度に比べ減少しました。</li> <li>老朽化した文化施設の修繕等については、屋根防水やトイレ改修など、緊急を要するものを優先に行いました。</li> <li>ウェスタ川越の指定管理者選定に当たっては、円滑に進めることができました。</li> </ul>								
成果実績	項目名(単位)	H29		H30		R1			
	ウェスタ川越大ホール区分稼働率(%)	75.2		73.0		69.3			
指標及び説明	【指標】文化施設の利用者数				【説明】やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールの利用者数				
指標の推移	単位	基準値(H26)	実績値						目標値(R2)
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	人	311,899	309,023	301,354	280,143	282,212	262,100		321,000
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェスタ川越大ホールの区分稼働率は新型コロナウイルスの影響により減少しましたが、おおむね高稼働な状況を保っています。</li> <li>文化施設に関しては、老朽化した設備があることから、計画的な改修が必要です。</li> <li>やまぶき会館、西文化会館、南文化会館の指定管理期間が令和2年度に終了となります。新たに指定管理者を選定する必要があります。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の利用に当たっては、引き続き指定管理者と連携し、新型コロナウイルス感染症への対応策を講じ、適切な施設の運営管理に努めます。</li> <li>南文化会館ホールの照明操作卓改修工事を実施します。</li> <li>やまぶき会館、西文化会館、南文化会館の指定管理者選定について、利用者の支障とならないよう円滑に進めます。</li> </ul>								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

【施策の柱】 (4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進

細 施 策	③文化交流の促進			担当課	担当課評価
				文化芸術振興課	A
施 策 の 内 容	文化芸術関係団体相互の交流を促進し、ネットワークの充実を図ります。				
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	実行委員会を主体として各関係団体と連携し、多種・多様な団体の参加・交流を促すことにより、更なる参加者数の増加に努めます。				
令 和 元 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市総合文化祭の参加団体は43団体で、入場者数は昨年度(4,317人)と比較して増加しました。</li> <li>・令和2年1月に蓮馨寺で行われた第44期棋聖戦(川越対局)において、川越市文化団体連合会の茶道部門による対局者への湯茶提供や、園芸部門による対局場への盆栽飾り等、各団体が持ち味を活かして協力しました。</li> </ul>				
成 果 実 績	項目名(単位)	H29	H30	R1	
	総合文化祭参加団体数(団体)	40	43	43	
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市総合文化祭の参加団体数は40団体程度の参加で推移しており順調に進捗しています。</li> <li>・各団体の行事において、違う分野の団体が協力するといったことが見られるようになり、団体間の交流が少しずつ進んでいます。</li> </ul>				
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度川越市総合文化祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。</li> <li>・川越市文化団体連合会事務局として、各文化団体の活動状況等を情報提供するなど、団体相互の交流機会の促進に努めます。</li> </ul>				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱	(4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施 策 評 価	①文化芸術活動への支援	文化芸術振興課	B	B	B
	②文化芸術活動の場の整備	文化芸術振興課	B		
	③文化交流の促進	文化芸術振興課	A		
学 識 経 験 者 等 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化祭について、高齢化が課題となっているということであるが、若い世代を取り込むための新しいスタイル(インターネット、SNS等)の文化芸術活動を模索していく必要があると考える。</li> <li>・ウェスタ川越のホールの使用料は非常に高いため、やまぶき会館等のホールを持った文化施設も充実させていただき、利用料金も含めて、市民が利用しやすい施設として考えていただきたい。</li> <li>・今年度は、新型コロナウイルス対策を重点的に行っていただきたい。</li> </ul>				

【施策の柱】(5)美術館の充実

細 施 策	① 展覧会等の充実							担当課	担当課評価
								美術館	A
施策の内容	市民が親しみやすい展覧会の実施や体験型のイベント等を企画し、市立美術館の利用機会の向上を図ります。								
前年度の改善の方策等	引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース、ちらし・ポスターの掲示等により広く周知を図ります。								
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示室及び相原求一朗記念室については年4回の展示替えを行いました。また、タッチアートコーナーについては、年4回開催しました。※(春)元木孝美展、(夏)原透展、(秋)塩谷良太展、(冬)收藏品と寄託作品から</li> <li>・特別展については、年4回開催しました。※(春)20世紀の工芸 日本×西洋、(夏)ゆかた 浴衣 YUKATA、(秋)田中毅展、(冬)平山郁夫展</li> <li>・令和2年3月3日から31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館としました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】				【説明】				
	①美術館の常設展観覧者数 ②美術館の特別展観覧者数				①常設展年間観覧者数 ②特別展年間観覧者数				
指標の推移	単位	基準値(H26)	実績値					目標値(R2)	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	① 人	38,934	33,269	41,917	41,431	50,219	35,349	39,000	
② 人	28,718	23,653	27,819	29,472	37,770	23,196	30,000		
現状・課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響もあり、常設展及び特別展の実績値は前年度を下回りましたが、進捗は順調に推移しています。								
改善の方策等	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース、ちらし・ポスターの掲示等により広く周知を図ります。								

細 施 策	② 創作活動・発表の場の提供							担当課	担当課評価
								美術館	B
施策の内容	創作活動や発表の場の提供を通じて、市民が芸術活動に参加する機会づくりに努めます。								
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの利用については、多くの団体が利用できるよう、引き続き有効活用に向けていきます。</li> <li>・創作室の利用については、新たな利用団体を獲得すべく、市民ギャラリーの利用者等に周知を図るとともに、現在利用している団体に対しても、夜間帯の利用も可能であることを説明し、さらに利用しやすい施設であることを周知していきます。加えて、SNSでも周知していきます。</li> </ul>								
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの年間稼働日数については、稼働日数252日/年間日数274日となっています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響で、19日分の稼働日数が減となっています。</li> <li>・創作室の年間稼働コマ数については、稼働コマ数360コマ/年間稼働コマ数822コマとなっています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響で、26コマ分の稼働コマ数が減となっています。</li> <li>・創作室の新たな利用団体については、令和元年度中に新たに1団体が加わりました。</li> </ul>								
成果実績	項目名(単位)		H29	H30	R1				
	市民ギャラリーの年間稼働日数(稼働日数/年間日数)(%)		90.57	93.31	91.97				
	創作室の年間稼働コマ数(稼働コマ数/年間コマ数)(%)		31.20	38.02	43.79				
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの年間稼働日数については、おおむね順調に進捗しています。</li> <li>・創作室の年間稼働コマ数については、午後5時から午後8時30分までの時間帯の利用は依然少ない状態です。</li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの利用については、多くの団体が利用できるよう、引き続き有効活用に向けていきます。</li> <li>・創作室の利用については、新たな利用団体を獲得すべく、市民ギャラリーの利用者等に周知を図るとともに、現在利用している団体に対しても、夜間帯の利用も可能であることを説明し、さらに利用しやすい施設であることを周知していきます。加えて、SNSでも周知していきます。</li> </ul>								

【施策の柱】 (5)美術館の充実

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化		担当課		担当課評価			
			美術館		A			
施 策 の 内 容	学校教育と連携した教育普及活動を行うとともに、子どもたちが文化芸術活動を体験できる機会の充実に努めます。							
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き各種事業を実施し、市民に広く発表することで美術教育に対する理解と認識を深めていきます。							
令 和 元 年 度 績 実	○教育普及事業 96事業 延参加者数 17,172人 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響で、7事業が中止となっています。 ・主に子ども(中学生以下)が参加できる事業 36事業 延参加者数 12,352人 ・主に大人が参加できる事業 28事業 延参加者数 1,821人 ・誰でも参加できる事業 11事業 延参加者数 2,675人 ・教員向け事業 10事業 延参加者数 238人 ○上記の内、主な学校教育との連携事業 ・川越市立中学校美術部展 出品生徒数 490人 観覧者数 1,117人 ・川越市立小学校6年生バス見学 32校 延参加者数2,986人 ・川越市内児童生徒作品展 3作品展 延観覧者数 6,033人							
指 標 及 び 説 明	【指標】 川越市立中学校美術部の祭典の参加校数			【説明】 川越市立中学校美術部の祭典に参加した中学校数				
	指 標 の 推 移	単 位	基 準 値 (H26)	実 績 値				目 標 値 (R2)
	校	20	H27 21	H28 20	H29 21	H30 21	R1 21	R2 22
現 状 ・ 課 題	川越市立中学校美術部展(令和元年度に改称)の参加校は昨年度と同じ学校数でした。参加できなかった中学校には美術部がないため参加が困難です。多くの教育普及事業が実施できたので、順調に進捗しています。							
改 善 の 方 策 等	引き続き各種事業を実施し、市民が表現・発表・鑑賞する機会を多く設けることで、美術教育に対する理解や認識を広げていきます。							

施 策 の 柱	(5)美術館の充実				
施 策 評 価	細 施 策	担 当 課	施 策 評 価		総 合 評 価
			細 施 策	施 策 の 柱	
	①展覧会等の充実	美術館	A	A	
	②創作活動・発表の場の提供	美術館	B		
③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	美術館	A			
学 識 経 験 者 等 意 見	なし				A